

▶授業の目的と概要

【目的】「くずし字」と呼ばれる独特な字体で記された江戸時代の古文書について学び、その基礎的な解読能力を身に付ける。

【概要】古文書の画像をテキストとして、書かれている内容や解読の方法を説明する。あわせて、受講者が自ら古文書を読みこなすことができるようトレーニングを行う。

授業では古文書の画像をテキストとして配布し、解読の方法を実践的に学習する。授業中で解読を行う箇所についてはあらかじめ指示するので、受講者は予習してきた内容に基づいて順番に解読文を板書し、教員が添削する。その上で、解読文についてのディスカッションと内容の解説を行う。こうした輪読形式でテキストを読み進めることを通じて、「くずし字」の基礎的な解読能力を身に付ける。

担当教員	経済学部 青柳 周一 教授
開講曜限	木曜日 2 限 (10 : 30～12 : 00)
開講日	4 月 13, 20, 27
	5 月 11, 18, 20, 25
	6 月 1, 8, 15, 22, 29
	7 月 6, 13, 20
参考書情報 (補足)	<参考書> ※ 必ず購入すること。 「くずし字解読辞典 普及版」／ 児玉幸多著，東京堂出版，1993 <補足情報> 古文書の内容と関わる歴史的な事項については『国史大事典』ほか歴史辞書類を参照。

※授業は対面で実施するが、新型コロナウイルス感染拡大状況によっては対面を取りやめ、オンラインのみとする場合がある。その際は、SUCCESSなどを通じて早めに周知する。